



日薬連

日薬連循環型社会自主行動計画

フォローアップ調査結果（2022年度実績）

FU調査：回答提出状況

	製薬協	GE薬協	OTC薬協	日漢協
2023年度調査	62/69	25/30	11/12	7/8
2022年度調査	67/72	27/29	5/6	6/6
2021年度調査	58/71	27/30	6/6	6/6
2020年度調査	54/72	31/33	6/6	6/6

105社/119社 **カバー率：80.5%**（前年度カバー率：93.3%）

カバー率算定根拠：日本における医薬品売上高（政府統計の総合窓口『用途別医薬品売上高の状況』（2021年度実績））に対する調査回答企業の医薬品売上高の占める割合より算出

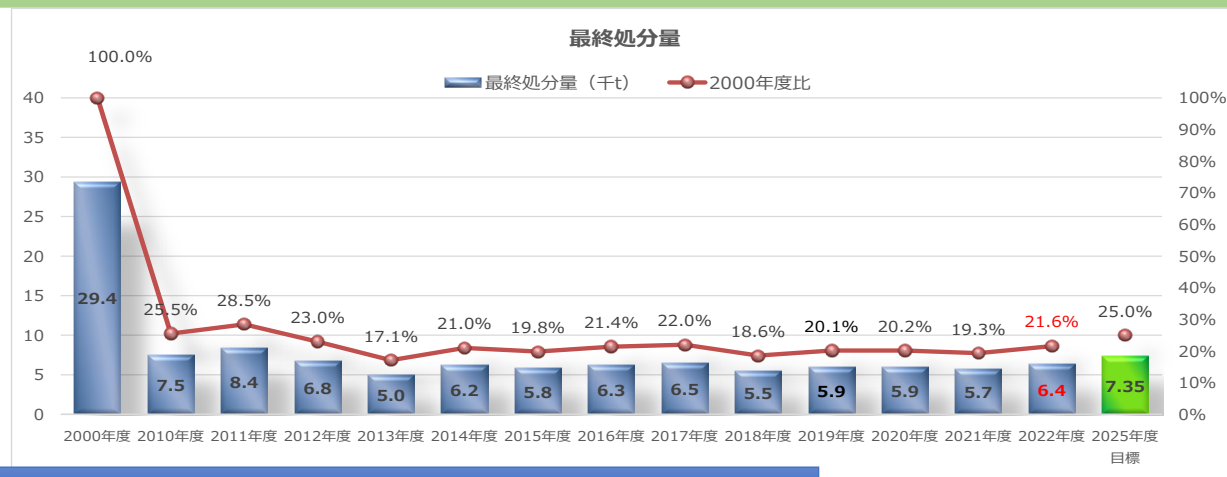
2023年公表値 [2021年度実績：13,692,477百万円（集計企業 302社）]

※)参考：2022年公表値 [2020年度実績：11,692,182百万円（集計企業 290社）]

最終処分量



日薬連



2021年度以降の自主行動計画：数値目標（統一目標）

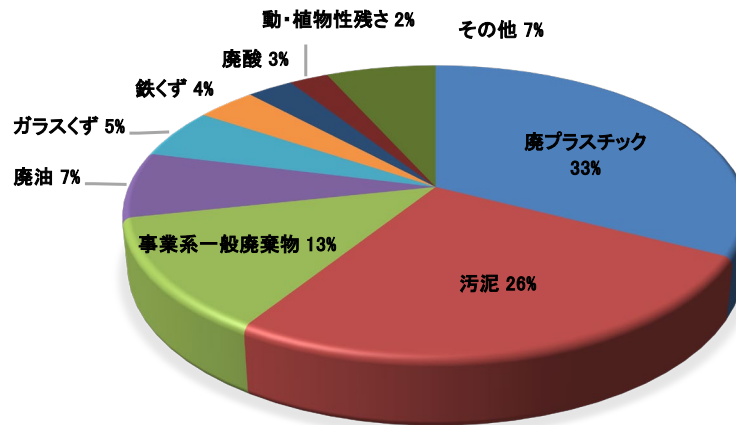
【産業廃棄物**最終処分量**削減目標】**2025年度**において、**2000年度比75%程度削減**する(7.4千トン以下に削減)

【結果】2022年度最終処分量**6.4千トン** ⇒ **目標達成**
(前年度比12.0%増、**2000年度比78.4%減**)

最終処分量：廃棄物種類ごとの内訳

廃棄物の分類	最終処分量 (トン)
合計	6,360
廃プラスチック	2,103
汚泥	1,673
事業系一般廃棄物	798
廃油	458
ガラスくず	346
鉄くず	232
廃酸	179
動・植物性残さ	151
その他	420

廃棄物分類別最終処分量

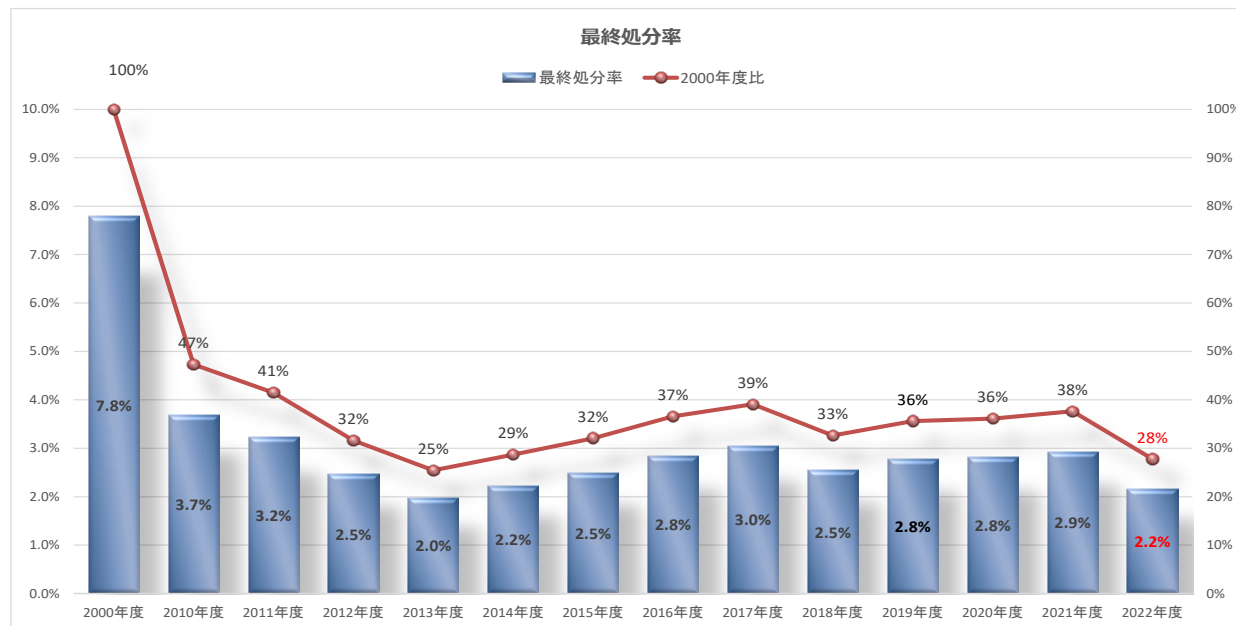


上位3品目で全体の72%
(昨年に比べ廃プラスチックの割合は減少)

最終処分率



日薬連

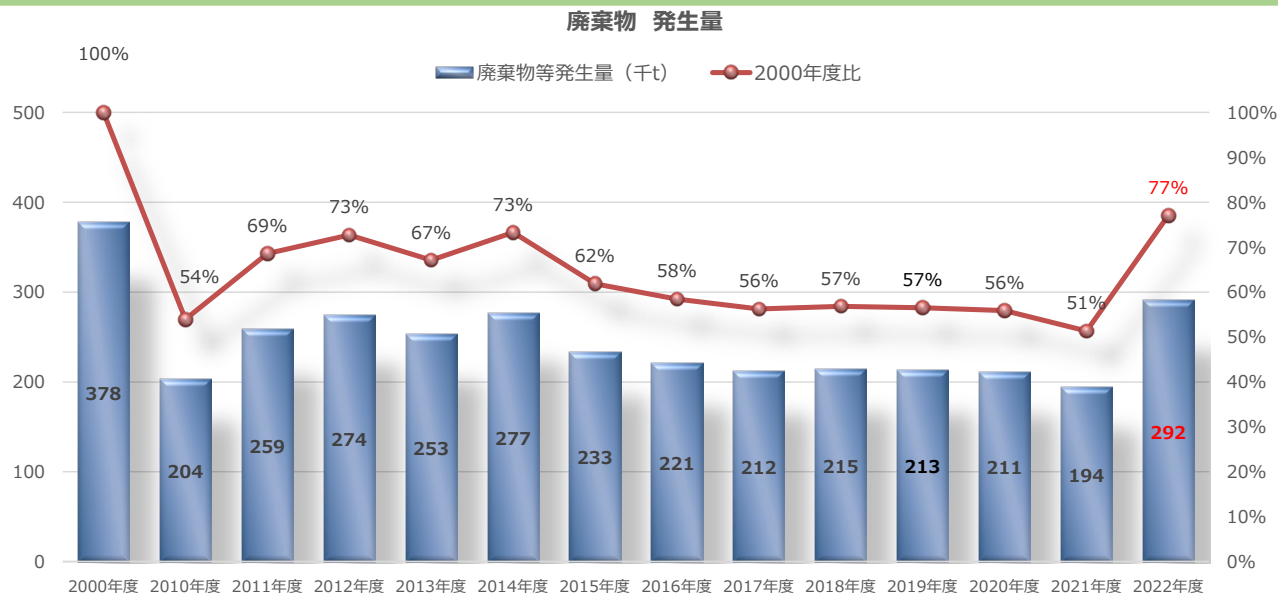


【結果】2.2% ⇒ 前年度比0.7ポイント改善

廃棄物発生量



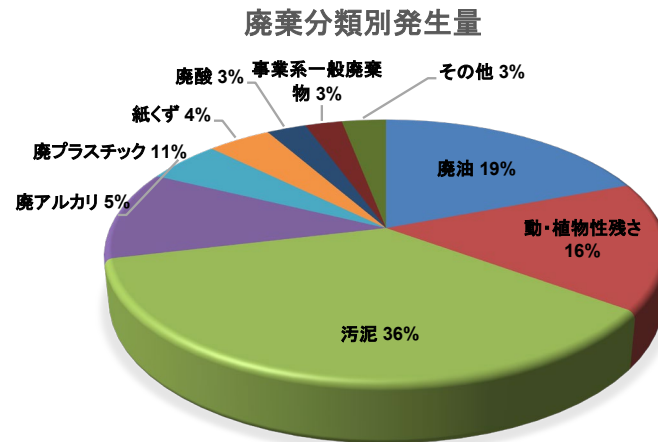
日薬連



【結果】292千トン ⇒ 前年度比50.7%増、2000年度比 22.7%減

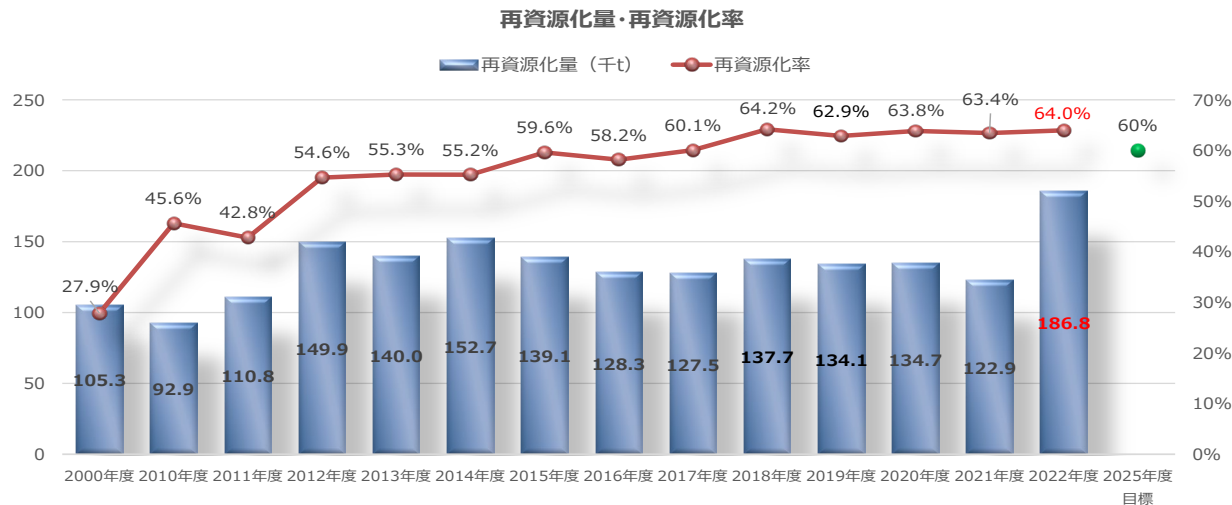
廃棄物発生量：廃棄物種類ごとの内訳

廃棄物の分類	発生量 (トン)
合計	291,962
廃油	56,140
動・植物性残さ	46,312
汚泥	105,710
廃プラスチック	32,072
廃アルカリ	14,962
紙くず	12,839
廃酸	7,859
事業系一般廃棄物	7,264
その他	8,805



上位5品目で全体の87%
(汚泥の割合が増加)

再資源化量・再資源化率



2021年度以降の自主行動計画：数値目標（日薬連 独自目標）

2025年度の廃棄物再資源化率を60%以上にする

【結果】再資源化率 64.0% ⇒ 目標達成

廃プラスチック再資源化率 (業種別プラスチック関連目標)

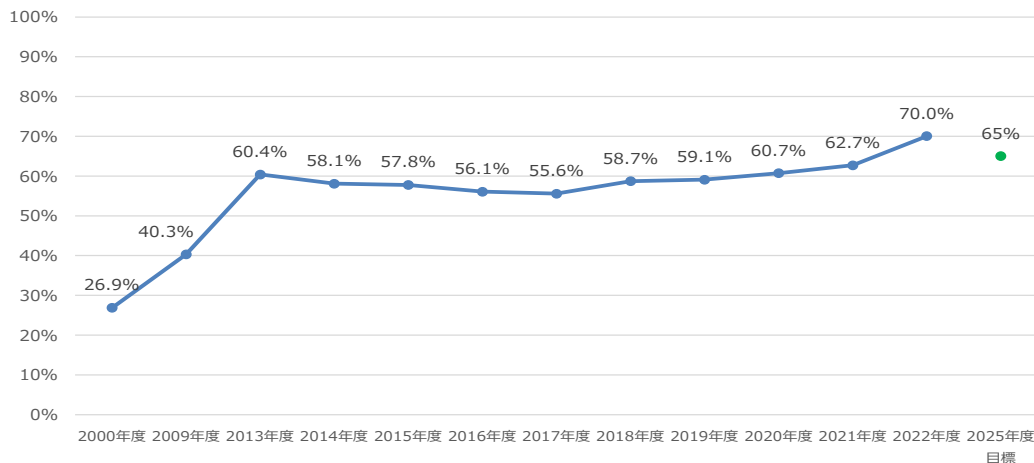


日薬連

2019年度に新規設定：数値目標（日薬連 独自目標）

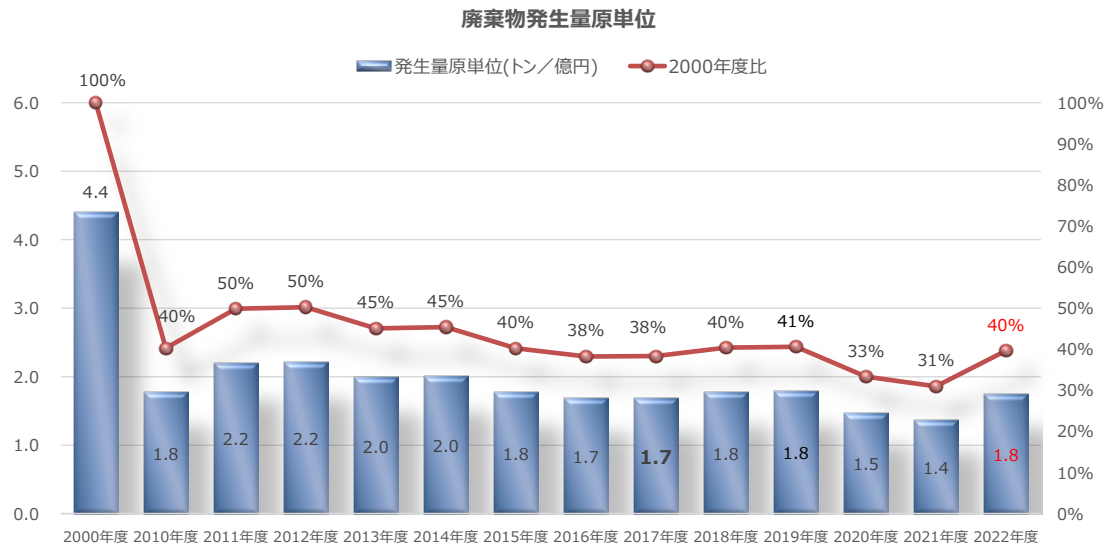
● 2030年度の廃プラスチック再資源化率を65%以上にする

日薬連 廃プラスチック再資源化率推移



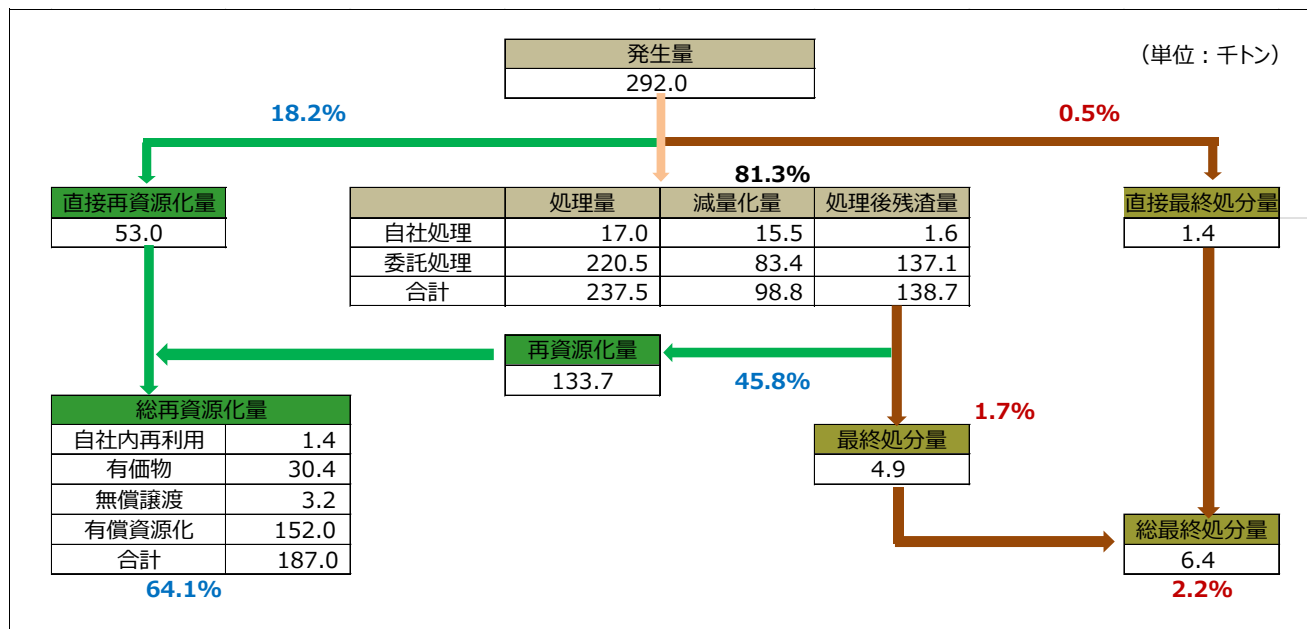
【結果】廃プラスチック再資源化率 70.0% ⇒ 目標達成

廃棄物発生量原単位（参考）



数値目標としては2020年度で終了：参考情報として紹介

【結果】発生量原単位1.8トン/億円：2000年度比 60%減

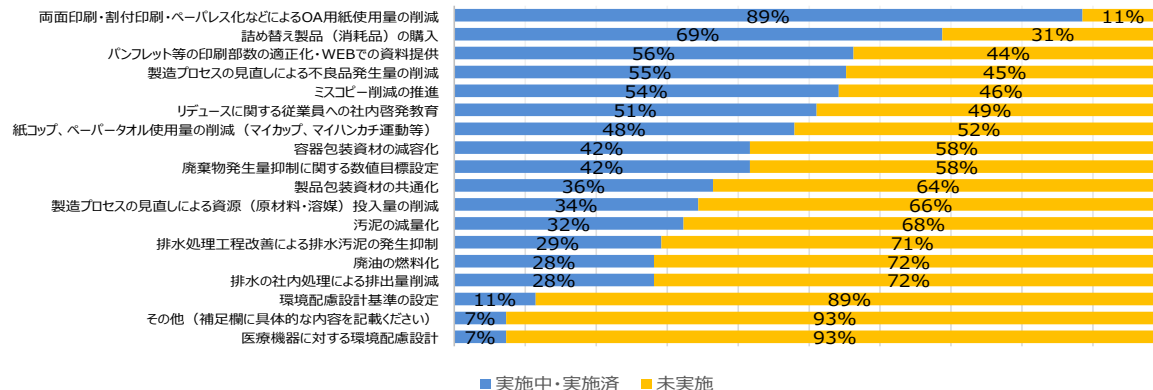


循環型社会形成に向けた取り組み実施調査結果

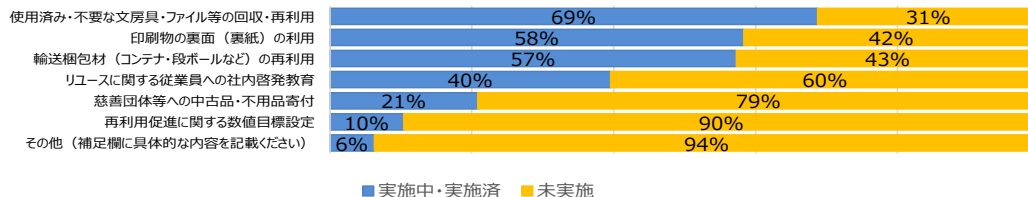


日薬連

廃棄物の発生抑制（リデュース）の取り組み



再利用（リユース）の取り組み

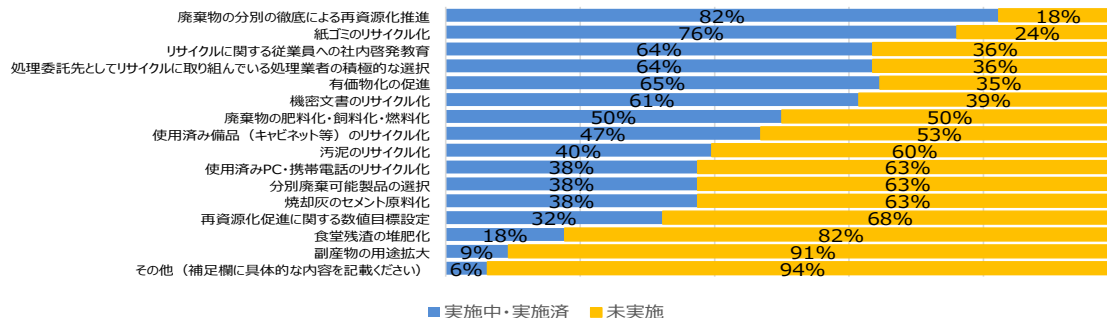


循環型社会形成に向けた取り組み実施調査結果



日薬連

廃棄物の発生抑制（リサイクル）の取り組み



その他資源循環の質を高めるための取り組み

